

米国・EUに輸出対応可能な食肉処理施設(牛肉)の配置について

対米国輸出施設：17施設
対EU輸出施設：14施設

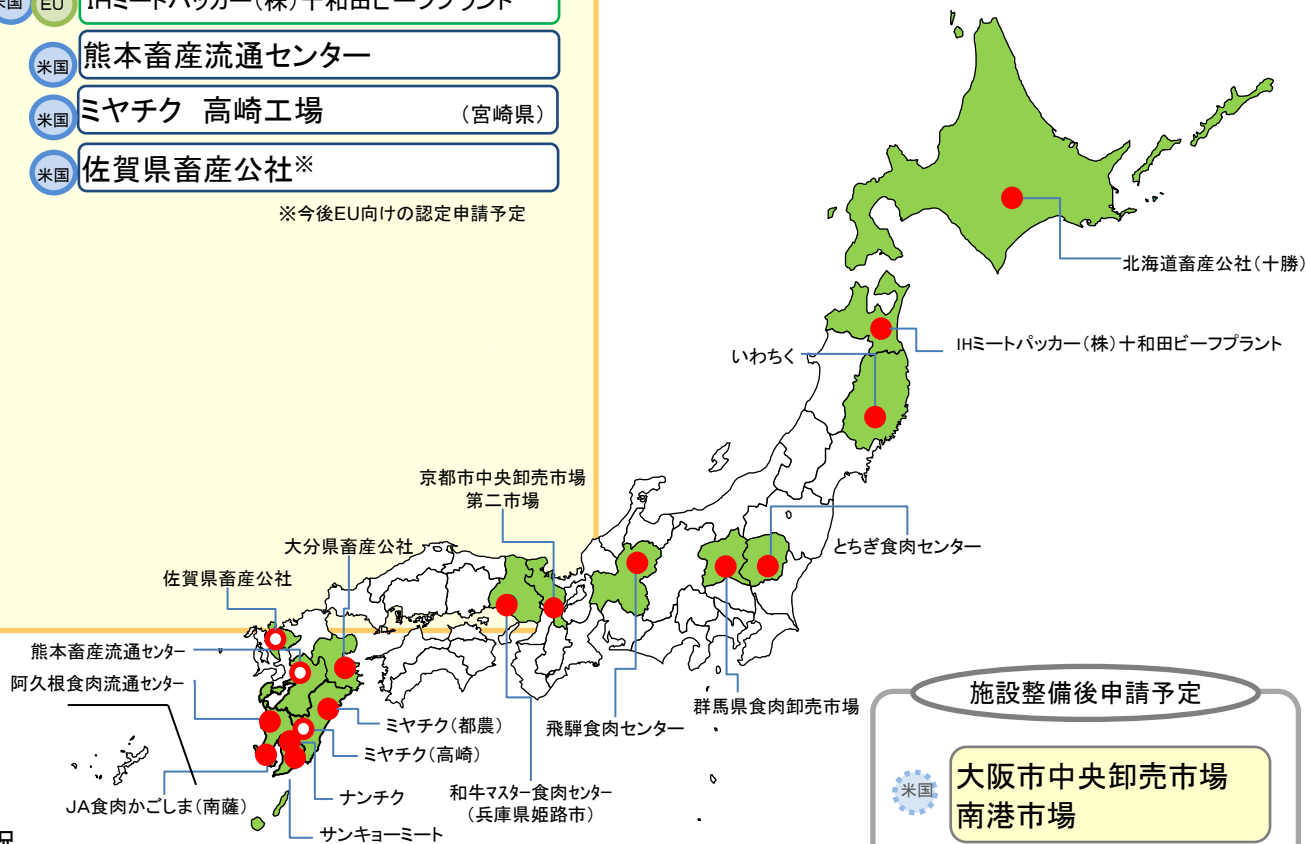
- 米国 EU とちぎ食肉センター
- 米国 EU 群馬県食肉卸売市場
- 米国 EU 飛騨食肉センター (岐阜県)
- 米国 EU 京都市中央卸売市場第二市場
- 米国 EU 和牛マスター食肉センター (兵庫県)
- 米国 EU ミヤチク 都農工場 (宮崎県)
- 米国 EU 阿久根食肉流通センター (鹿児島県)
- 米国 EU ナンチク (鹿児島県)
- 米国 EU サンキョーミート (鹿児島県)
- 米国 EU JA食肉かごしま南薩工場
- 米国 EU 北海道畜産公社十勝工場
十勝総合食肉流通センター(第3工場)
- 米国 EU いわちく

- 米国 EU 大分県畜産公社
- 米国 EU IHミートパッカー(株)十和田ビーフプラント
- 米国 熊本畜産流通センター
- 米国 ミヤチク 高崎工場 (宮崎県)
- 米国 佐賀県畜産公社※

※今後EU向けの認定申請予定

令和8年5月末時点

- 対米国・EU輸出可能な施設
- 対米国輸出可能な施設



施設整備後申請予定

- 米国 大阪市中央卸売市場南港市場
- 米国 EU 北海道和牛マスター食肉センター

(参考) 主要な輸出国・地域別の牛肉の輸出施設認定状況

	香港	台湾	米国	シンガポール	EU	タイ	マカオ
施設数	15	30(1)	17	21(1)	14	87	78

※()内の数値は、非併設食肉処理施設の認定数であり、表中の施設数には含まない。

輸出向けハラール認証食肉処理施設(牛肉)の配置について

令和8年5月末時点

UAE	カタール	バーレーン	インドネシア	マレーシア	サウジアラビア	クウェート
7	9	6	4*	3	3	5

※1施設は全開連人吉食肉センターであり、認定を取得しなおす必要がある。

熊本中央食肉センター

UAE、カタール、サウジアラビア、クウェート、マレーシア、台湾、シンガポール、マカオ、タイ

全開連人吉食肉センター

タイ、マカオ、カタール、バーレーン、UAE

ハラール認定必要国:再認定に向けて準備中

SEミート宮崎

カタール、クウェート、UAE、インドネシア

徳島市立食肉センター

カタール、マカオ、タイ

北海道畜産公社北見工場

UAE、バーレーン、カタール、台湾、マカオ、タイ、ベトナム

三田食肉センター

UAE、バーレーン、カタール、マレーシア、サウジアラビア、インドネシア、クウェート

協業組合本庄食肉センター

カタール、バーレーン

羽曳野市立南食ミートセンター

UAE、バーレーン、カタール、クウェート、マカオ、タイ、ベトナム、ミャンマー

にし阿波ビーフ

マレーシア、インドネシア、UAE、バーレーン、カタール、サウジアラビア、クウェート、台湾、シンガポール、マカオ、タイ、ベトナム、フィリピン、ミャンマー

※下線部:ハラール認証必要国